

## ほゆう

会報 145号

平成 18 年(2006) 7 月例会時発行  
〒277-0841

柏市あけぼの 2-9-20 B902

北総歩こう会事務局

TEL・FAX 04-7145-1620



## 例会の案内板

☆ 8月例会 ミニナイトW手賀沼 10km (例会リーダー 菊地 靖)

日時/8月5日(土) 16:30 団体歩行

集合/ JR常磐線我孫子駅北口徒歩3分 我孫子ふれあい広場 (案内あり)

参加費/ 県内歩会々員無料・他県協会々員 300円・一般参加 500円

解散/ 19:00頃 手賀沼親水広場 我孫子駅まで案内します

コース/ 我孫子ふれあい広場～利根川遊水池～柴崎台中央公園～瀧下広場～手賀沼親水広場～我孫子駅

○ みどころ/ 市内を通り抜け遠く取手市のビル街を望みながら遊水池に沿って歩く。坂を上って再び市内に入り南下、手賀沼瀧下広場へ。さらに日没時の遊歩道を歩く。夕暮れ時の夜景を楽しんで下さい。なお、当日予定の手賀沼の花火を望見出来れば最高です。

☆ 9月例会 古利根と谷津田 14km (例会リーダー 市川 操)

日時/9月9日(土) 9:00 団体歩行

集合/ JR常磐線天王台駅北口4分 柴崎台中央公園 (案内あり)

参加費/ 県内歩会々員無料・他県協会々員 300円・一般参加 500円

解散/ 天王台西口公園 14:30頃

コース/ 柴崎台中央公園(WC)～ふれあい工房(WC)～古利根沼～中峠亀田谷公園(WC)～湖北台中央公園(WC・昼食)～都部・岡発戸の谷津田～天王台西口公園

○ みどころ/ 古利根沼には未開発の自然が残り、都部・岡発戸の谷津田には秘境を思わす雰囲気漂い、手賀沼の人工的自然とは異なる趣があります。我孫子のネイチャーウォーク、タイムスリップして自然と対話してみても如何ですか？

☆ 平日ウォーク 江戸七富士巡り 14km (コースリーダー 石原 洋二)

日時/9月20日(水) 9:00 団体歩行 北総歩会の特別行事で年間完歩対象外です。

集合/ JR日暮里駅北口下車谷中霊園内・天王寺公園 距離及びIVVは認定します

参加費/ 会員 100円・県内歩会々員 200円・他県協会々員 300円・一般参加 500

解散/ 花園神社 15時頃 (最寄り駅はJR新宿駅)

○ みどころ/ 江戸時代富士講の人々によって府内の神社境内に築かれた富士塚のうち、駒込富士・白山富士・音羽富士・高田富士・西大久保富士・東大久保富士・新宿富士の七つの富士山を巡ると共に三箇所の富士見坂と富士講の中興の祖・食行身祿の墓の有る海蔵寺を訪れます。また、23区内最高峰の箱根山(海拔44.6m)にも登ります。

1. やあ!お早よう 明るい挨拶 さわやかに

# ふぁみりーウォーク

この行事に参加する場合、事前の申し込み(連絡)等の必要はありません。  
「ふぁみりーウォーク」の集合時間 7・8月:は、夏時間 **7:30** です。参加費(100円)  
集合時間が出発時間ともなりますので、遅れない様にご注意ください。

- ☆ 8月12日(土) 手賀沼蓮の群生地へ (早朝 W 時間注意) 約 8km (担当: 菊地 靖)  
集合: JR 柏駅東口そごう前 解散: ローレルヒルズ手賀の杜バス停 (我孫子駅行き)
- ☆ 9月16日(土) 上野から北千住 約 8km (担当: 石原 洋二)  
集合: JR 上野駅入谷口 パンダ広場 (集合時間は通常の 9:00 に戻ります。ご注意)  
解散: 北千住駅 12:00 頃

北総歩こう会のモットー **明るく・楽しく・和やかに** 略号…明

平成18年6月例会



## 「見沼たんぼと花」を担当して

例会リーダー 河野 千代子

平成17年11月に「神田川と寺町」の例会を終えてすぐに、半年後に予定の「見沼たんぼ」の準備に入りました。資料集めは以前から用意していたさいたま市緑区の地図だけでは不安で、本屋さんに注文したり、さいたま市広報課から取り寄せ、また、JWAの黒河内さんから17年度「川口・見沼2Dマーチ」の地図を送って戴いたりして参考にしました。そして第1回目下見を昨年12月25日クリスマスの日に行いました。暖冬の予報から厳冬の予報に変わり、見沼代用水東西の縁や芝川に氷が張っているほどの寒い日でした。その後も2月下旬・6月上旬と下見を重ねて本例会を迎えました。

例会当日は心配だった雨も降らずに209名と多数のご参加をいただき、昼食場所の見沼水川公園も予定どおりでした。各所で紫陽花の花が、植物園では沢山の花が迎えてくれました。心残りには国昌寺の「センダンバナボダイジュ」がまだ蕾だった事です。

梅雨真只中の例会を無事に終わり、参加の皆様や役員の協力に感謝すると共に、例会担当二

人の役員さん、下見の支援有難う御座いました。  
(担当: 早川 進・香住 和良)



見沼代用水西縁を行く→

2. 信号で、あわてず あせらず 待つ余裕

# ほゆるのひろば



## 氏神を祀る素朴な社と桜並木を歩いて

(H18.4.9. 南部手賀のさくら コース)

松戸市会員 鈴木康正

春の強風が一日だけ歩こう会のために休んでくれたような陽射しのなか、北総線小室駅から湖北までの16km、都心から遠くないこの地にまだまだ素朴な景姿が残されていたことに少なからず驚かさされてしまった。おそらく戦後50年間交通の便が悪く、外部からの移住者が少なかったせいなのか昔のままの風景が残され、それはコースの道々に立ち寄る神社の造りが、500年も1000年も昔から引き継がれてきたような古風な造形。あたかも日本全体を守護し、共通の大御祖の神といわれる伊勢神宮の別宮や末社を見る思いがしてくる。



4/9 月例会 東光寺境内で休息中の参加者

首都圏にある殆どの神社仏閣が、あたかも露天商の如く参詣客集めのためケバケバしい色彩で塗りたくられ、何のご利益もない七福神の石像を置いているのとは全く違い、地域に住まう人々を守護する氏神として何百年もの間崇められ・村人を見守り続けてきたことが容易に窺い知ることができ、これから何時までもこのお姿で鎮座されるようお願いながら掌を合わせてきた。道しるべとて無い細い路を迷いもなく案内された事には感嘆すると同時に何回も何度も下見をされ準備されたことに感謝いたします。

白井地区を通り過ぎ、手賀沼に注ぐ小川の両堤に今が盛りと咲き誇る今井の桜並木の何と立派なこと、歩けど歩けど行き交う人もなく、遠くに近隣の家族の方々が花見の宴を設けているのを1~2見かける程度、おそらく4~50年は経ていると思われる古木が精一杯花びらを開かせ、見る人の心を和やませてくれている。もはや古木の中心は寿命が尽きつつあると思われるがたとえ外皮だけとなっても枯れることなくこれからも咲き続けてくれることを願いつつ、手賀の丘公園へと歩を進めていった。

このコースを設定してくださった担当役員の方々の並々ならないご苦労に深く感謝いたします。

## 新入会員紹介

(H.18.5.6 歩遊人受付)

柏市高田の竹渕幸枝さん 会員の皆様どうぞよろしく

【編集後記】6/9の早朝、ラジオのスイッチを入れると「今朝の日の出は東京では4:25・北海道の札幌は3:25・沖縄の那覇では5:25です」と報じていた。日本列島北と南では2時間の時差がある。6/21夏至この日を頂点に日の出は徐々に遅くなっていく。時は梅雨の真最中。何故か「雨の降る日は天気が悪い」と言うが古来日本人は、神棚に祭る御幣のギザギザした白い紙は雨を表し雨乞いをするくらい雨を大事にした。日の出と共に起床して大自然の中を闊歩し、日没と共に眠る我々ウォーカーは、自然と共存出来る唯一の人間ではないか。一步遊人—

編集担当 和田 武年 〒270-0121 流山市西初石 6-187-43  
Tel・Fax 04-7154-0170 Eメール: takejii@isis.ocn.ne.jp